

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【公開番号】特開 2019-37428 (P2019-37428A)  
 【公開日】平成 31 年 3 月 14 日 (2019.3.14)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-010  
 【出願番号】特願 2017-160876 (P2017-160876)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段と、

前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段と、

計測時間が監視時間を経過したときに時間経過信号を発生させる信号発生手段と、

演出音の出力を制御可能な音声制御手段と、を備え、

前記表示制御手段は、前記監視時間が経過するより前に前記信号発生手段による計測時間を初期化する第 1 制御と、前記第 1 制御が実行されない所定事象が発生した場合に、前記記憶手段の記憶データを読み出している読出期間中に前記監視時間が経過するより前に前記信号発生手段による計測時間を初期化する第 2 制御とを実行可能であり、

前記記憶手段は、通常使用領域と、代替使用領域とを含み、

前記所定事象は、前記通常使用領域に記憶されたデータを、前記代替使用領域に記憶させる処理であり、

前記記憶手段に、表示制御に関するデータと、演出音の出力制御に関するデータとが、一連のデータとして記憶され、

前記表示制御手段による制御と前記音声制御手段による制御とを同期して実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

( A ) 上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機 (例えばパチンコ遊技機 1 など) であって、表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段 (例えば演出データメモリ 1 2 3 など) と、前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段 (例えば CPU 1 3 1、VDP 1 3 5 など) と

、計測時間が監視時間を経過したときに時間経過信号を発生させる信号発生手段（例えばウォッチドッグタイマ１３４など）と、演出音の出力を制御可能な音声制御手段（例えば音声処理回路１３６など）と、を備え、前記表示制御手段は、前記監視時間が経過するより前に前記信号発生手段による計測時間を初期化する第１制御（例えば制御中演出データ転送処理のステップＳ２７３による制御など）と、前記第１制御が実行されない所定事象が発生した場合に、前記記憶手段の記憶データを読み出している読出期間中に前記監視時間が経過するより前に前記信号発生手段による計測時間を初期化する第２制御（例えば制御中演出データ転送処理のステップＳ２８１による制御など）とを実行可能であり、前記記憶手段は、通常使用領域と、代替使用領域とを含み、前記所定事象は、前記通常使用領域に記憶されたデータを、前記代替使用領域に記憶させる処理であり、前記記憶手段に、表示制御に関するデータと、演出音の出力制御に関するデータとが、一連のデータ（例えば動画像データなど）として記憶され、前記表示制御手段による制御と前記音声制御手段による制御とを同期して実行可能である（例えば図１４を参照）ことを特徴とする。

このような構成によれば、不具合の発生を防止できる。

（１）また、他の遊技機として、遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機１など）であって、表示制御に関するデータを記憶可能な記憶手段（例えば演出データメモリ１２３など）と、前記記憶手段の記憶データを読み出して表示手段を制御可能な表示制御手段（例えばＣＰＵ１３１、ＶＤＰ１３５など）と、計測時間が監視時間を経過したときに時間経過信号を発生させる信号発生手段（例えばウォッチドッグタイマ１３４など）とを備え、前記表示制御手段は、前記監視時間が経過するより前に前記信号発生手段による計測時間を初期化する第１制御（例えば制御中演出データ転送処理のステップＳ２７３による制御など）と、前記第１制御が実行されない所定事象が発生した場合に、前記記憶手段の記憶データを読み出している読出期間中に前記監視時間が経過するより前に前記信号発生手段による計測時間を初期化する第２制御（例えば制御中演出データ転送処理のステップＳ２８１による制御など）と、を実行可能である、

ことを特徴としてもよい。

このような構成によれば、不具合の発生を防止できる。